

長野県が提供している「信州防災アプリ」をご紹介します。

災害は、いつ起こるかわかりません。

災害が起こる前にできること、災害が起きた時の適切な行動などを学び、準備するためのアプリを無料で提供しています。

令和元年の千曲川の洪水災害、忘れられないですね。

災害対策で、私達ができることは何でしょう？

備えることです。

災害に関する情報をどうやって受け取るか、いざという時に、少しでも早く行動するために準備をしましょう。

こちらが「信州防災アプリ」です。

こちらのアプリをダウンロードしてみましょう。

ダウンロード後のトップ画面はこちらです。

登録した地域の地図上に、さまざまな情報が表示されています。

避難場所や河川カメラなどの位置が掲載されています。

知りたい箇所のアイコンをタップすると、映像や情報を見ることができます。

こちらは、「ハザードマップ」の表示です。

危険な場所が一目でわかります。

地図上にある「カメラ」マークをタップすると、

映像で川の様子を見ることができます。

こちらのページでは、自分に合った「避難計画」を作ることができます。

危険度に合わせて、自分がどう行動すればよいか事前に考え、記録できます。

災害が起きた時、「私の避難計画」をタップすると、事前に作成した「避難計画書」が表示されるので、落ち着いて行動できます。

他にも、防災知識を学ぶ「防災コラム」「防災クイズ」などなどさまざまなページがあります。

「信州防災アプリ」は、それぞれの地域にあった防災を考え、県民の命を守るために開発したアプリです。

家族や職場のみんなで、積極的に利用してください。

よろしくお願いします。